森のストラップ

梵珠少年自然の家

1　活動のねらい

・自然物を使ってオリジナル作品を作ることで、自然に親しむことができます。

・道具の安全な使い方を習得することができます。

【教科への対応】　小学校：図画工作など　　中学校：美術、技術・家庭など

2　活動の概要

自然の素材であるどんぐりや木の輪切り、松ぼっくり等を材料に、独自のストラップを作る活動です。

＜作品例＞

(1) **人数**　１６０人以内

(2) **対象**　小学校５年生～中学生・高校生

(3) **期間**　通年

(4) **時間**　1～1.5時間（説明２０分＋活動 40～70 分）

(5) **場所**　体育館、研修室１・２、キャンプセンター

(6) **経費**　５０円／１作品

(7) **指導**　製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。

3　準備物

団　　体	救急薬品
個　　人	軍手、小枝や松ぼっくりなどの木の実
自然の家	材料：木の輪切り、ヒートン（３個まで/１人）、ビーズ（６個まで/１人） ストラップ、カラーゴムひも（20cm まで/１人） 用具：カッターナイフ、油性ペン、ラジオペンチ、木工用ボンド、ニードル 修正ペン、ネームペン（細）、作業板

4　引率者の役割分担

代表責任者	１名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

＜製作の様子＞

5　活動の流れ

	内　　容
説　明	・参考作品を提示しながら、作り方について説明 ・用具の使い方と安全について説明
活　動	①　自然物でどのようなストラップを作るかイメージする。 ②　輪切り、梅枝、ドングリ、ビーズで装飾用パーツを作る。 ・輪切り：木の皮の部分にヒートンを取り付ける。 マジックなどで字や絵を描いてもよい。 ・松ぼっくり：上部にヒートンを取り付ける。 ※ニードルでヒートンを取り付ける場所に、軽く穴を開ける。 あまり奥まで穴をあけると、ヒートンのねじ径より穴が大きくなり、固定できないので慎重に作業する。 ・ドングリ：平たい面にヒートンを取り付ける。マジックや修正液で字や絵を描いてもよい。 ※ドングリは皮がやわらかく割れやすいので、穴をあけた後ヒートンを刺す前に、木工用ボンドを注入する。 ボンドが乾くまではヒートンを動かさない。 ・梅枝：適当な長さに切り、カッターで皮を削り、字や絵を描く。 ・ビーズ：カラーゴムひもを通し、上端をむすんで止める。 下端にヒートンを付けた自然物を通してもよい。 ※ゴムひもを通しにくいときは細いワイヤーにひもを挟み、ワイヤーごとビーズの穴に通す。 ③　ストラップの金具に、装飾用パーツを付けて完成。 ② ＜輪切り＞ ＜松ぼっくり＞ ＜ドングリ＞ ＜梅枝＞ ＜ビーズ＞
まとめ	・感想発表や友達の作品の鑑賞 ・用具の返却と後片づけ

6　安全に実施するためのポイント

・けが防止のため、なるべく軍手をつけて作業する。

・刃物を扱うときは、刃の前に指や手を置かないように十分気をつける。

・用具を散乱させておかないように注意する。